



眉間の誇り

細島小学校だより

第5号

令和2年 8月25日

2学期スタート

8月24日(月)より2学期がスタートしました。当初は8月27日(木)が始業式でしたが、予定よりも3日早いスタートとなりました。

夏休みに入る前後から、日向市でも新型コロナウイルス感染者が増えはじめ、緊張感をもって過ごすようになりました。夏祭り等の行事がなくなり、プール等の施設も閉鎖されたことで、いつもとは違った夏休みとなったことでしょうか。「ずっと家にいて、することもなく、どうにかなりそうでした。」と話す職員もいました。どのような夏休みを過ごしたか、子どもたちから話を聞いてみたいと思います。

さて、学校はというと、3週間ちょっとの夏休みでしたが、子ども達の事故、問題行動等の連絡が学校には届きませんでしたので、平穏無事でした。これも、日頃より子どもたちを見守っていただいている保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。ありがとうございます。夏休みの一番大事な宿題「命を守る」ができました。



【2学期始業式の様子】

昨日、体育館で始業式を行いました。感染症と熱中症の対策として、体育館の窓を開け、大型扇風機(6台)を使用し、ソーシャルディスタンスに配慮して、短時間で行いました。式の中で、校長からは次のような話がありました。

みなさんの顔、姿を見て安心しました。それは、91名のみなさんと18名の職員がとっても元気だからです。これから3つ話をします。

1つ目は、2学期のことです。2学期は、全部で85日です。1年の中で一番長い学期です。活動することがたくさんあります。細島芸術祭、校内牧水カルタ大会、体育発表会、持久走大会とたくさんの行事がみなさんを待っています。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、この行事が中止になるかもしれません。そんな時は、くよくよせず、ポジティブに乗り越えていてもらいたいと思います。

2つ目は、夏休みにみなさんが作った俳句、短歌がたくさん子ども新聞に載ったことです。気持ちを文字に表すことはとても大切なことです。これからも金曜日に宿題を出します。進んで書いて、担任の先生に提出してください。みなさんの作品が新聞に載ると地域や保護者の皆様がとっても喜びます。まわりの学校からも「細島小学校は、すごいですね。」と言われるます。どんどん細島小学校をアピールしてください。

3つ目は、新型コロナウイルスのことです。この病気は誰にでもうつります。インフルエンザに似ています。ただ、違うところは、この病気は治療する薬がないのです。だから、長引いたり、死んだりするのです。その予防のためにマスクをしたり、席を離したり、手指の消毒をしたりしているのです。予防をしてもうつることがあります。知っている人が感染してもいやなこと、いたずら、悪口を絶対言ったりしないでください。人がいやがることは絶対にしないことを守って、このコロナを乗り越えましょう。

この3つのことを頭に入れて、あいさつ、思いやり、ポジティブな気持ちでこの2学期を過ごしていきましょう。

7月30日(木)の終業式では、3年の兒玉幸大さんが1学期を振り返り、作文を読み上げました。

「ともにたたかう仲間がいたから、苦しいことや困難なことも乗り越えることができた。」と冒頭で伝え、成長したこと、うまくいかなかったことを発表しました。初めて学習した社会科や理科の学習の楽しさに気付いたことや遊び係としてうまくいった達成感を伝えていました。一方で、話し合い活動で司会をした時に、うまく進めることができず心が折れそうになったことにも触れていました。そして、最後には「苦手なことがあるけれども、これからも友達と一緒に乗り越えて、さらに成長する」と力強く述べました。

8月24日(月)の始業式では、5年の甲斐柚樹さんが2学期の目標を3つ述べました。1つ目は漢字を覚えることで、漢字を苦手に行っているようですが、2学期は特に送り仮名の漢字を覚えていきたいと発表しました。2つ目は委員会活動のことでした。柚樹さんは放送委員会に入っており、給食時間に放送しているのですが、ひっかからずすらすら読めるように頑張ることを伝えました。3つ目は習い事のソフトボールのことで、打順で4番の座を奪うために、ほぼ毎日練習していることを力強く伝えました。

一人一人が1学期を振り返り、2学期の目標を立てたことだと思います。大切なことは、目標を達成するためにどう動くかですね。

二宮金次郎

9月末から、新校舎の建設が始まります。それに伴い、子どもたちは校門を抜けてから体育館の裏を通って登校することになります。その時、ある銅像のすぐ横を通るのですが、果たして子どもたちは、この銅像が誰なのか知っているのでしょうか。

二宮金次郎は1787年に神奈川県小田原市に生まれ、1856年に栃木県今市で亡くなりました（70歳）。二宮金次郎というタイトルの小学校の校庭に銅像がありましたので、日本人なら知っていると思いますが、生涯にどのようなことをし、どのような教えをしたかを知る人は少ないと思います。

金次郎は、生まれた頃は裕福でしたが、川の氾濫で田畑を失い、お父さんは金次郎が14歳で、お母さんは16歳の時に亡くなりました。

そこで叔父さんに預けられるのですが、ある夜、明かりをとめて本を読んでいると叔父さんに怒られたのでした。「お前は誰のおかげで飯を食べているのだ。油がもったいない。」というのです。今度は空き地に菜種を植え、出来た菜種と油を交換して本を読むのですが、また「お前の時間は俺の時間だ。お百姓に学問はいらない。」と叱られるのです。彼は朝から晩まで真面目に自ら働き、家では勉強させてもらえなかったため、集めた薪を家に持って帰る途中に本を読んで一生懸命勉強をしました。それから始まったのが、薪を背負い歩きながら本を読む姿なのです。金次郎(尊徳)は、大人になって、荒廃した農村の復興に努め、独特の農法・農村改善策により、人々の暮らしを豊かにしたのでした。

※金治郎の功績については、次号に掲載します。



※ ちなみに、細島小の二宮金次郎の銅像は、平成22年2月に還暦会（虎卯会：昭和37年度卒業生）によって、今の場所に建てられました。

奉仕作業

期日：9月6日（日）7時～8時30分
（雨天決行）

※ 状況によっては、中止とすることがあります。その際は、速やかに連絡させていただきます。

本年度の模擬店（バザー）は中止

8月24日（月）にPTA役員会を行いました。生活部からの情報をもとに協議し、新型コロナウイルス感染の終息が見えないこと、3密が避けられないこと、他校の状況、準備期間を考え、本年度は中止することになりました。

仮設運動場完成

現運動場に新校舎が建つ関係で、旧駅舎跡地が仮設運動場になりますが、先日完成しました。

9月末から使用することになります。主に、体育の時間や昼休みに活用することになります。

今後、男女トイレ（1カ所ずつ）、と手洗い場が設置されます。



【仮設運動場】

日	曜	9月行事等
6	日	ふれあい奉仕作業
9	水	耳鼻科検診（1・4年）
10	木	クラブ活動
11	金	参観日
14	月	代表委員会
17	木	クラブ活動 交通教室
21	月	祝日：敬老の日
22	火	祝日：秋分の日
29	火	全校集会
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導週間 8/31～9/4 ・集金週間 9/23～9/25 ・教育相談週間 9/23～9/25 		

- ・体育発表会 10月14日（水）
- ・持久走大会 11月26日（木）予定（参観日）